

学校教育目標	「未来を拓く 健やかな 葛野の子」 ○ともに学び合い、ねばり強く取り組める子を育てます(知) ○よいこと、悪いことをきちんと判断し、責任をもって行動する子を育てます(徳) ○心と体をきたえ、自分やひとの命と体を大切にすることを育てます(体) ○人や自然を大切に、思いやりをもって共に生きる子を育てます(公) ○多くの人とコミュニケーションを通して、考え、深めあえる子を育てます(開)				
	創立 48 周年	学校長 阿山 美香	副校長 西松 亮介	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 5
学校概要	児童生徒数: 475 人 主な関係校: 汲沢小学校 汲沢中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	汲沢中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈問題発見・解決能力〉 〈自分づくりに関する力〉	汲沢中学校 汲沢小学校 葛野小学校	自ら学び、社会につながり、互いに高めあう子  びだわり活動による異学年交流を活発にし、相手に応じたコミュニケーションの仕方を学ぶ。運営委員会を中心に挨拶運動に取り組み、汲沢中学校の職場体験の際には、中学生と合同で挨拶運動を行い、コミュニケーションの素地を養う。 ○日々の授業の中で自分の考えを表現する力を養う。また、小中合同授業研究においても、互いの考えを認め合いながら学習を深めることができる児童の育成を図る。

中期取組目標	○職員一人ひとりの力を発揮していくとともに、チームで「未来を拓く健やかな葛野の子」を育てます ・自ら学ぶ力を身に付けると同時に家庭学習の充実を図り、基礎・基本的な知識・技能の習得、その活用力を育てます ・道徳教育の充実と生活指導を通して、他者と共存する規律ある態度の向上をめざします ・「早寝 早起き 朝ご飯 元気なあいさつ 外遊び」のスローガンのもと、健康でたくましい心身の育成を図ります ・積極的に地域と関わり、まちとともに歩む学校づくりを推進します
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知 担当 学力向上	①学年単位で授業を見あう機会を設け、教師の授業力向上を目指す。②GIGA端末を活用した学年ごとのカリキュラムを明確にし、定着を図る。③年間を通して研修や研究の場を設け、子どもたちが主体的に課題を解決できるよう教員のかかわり方を高める。
徳 豊かな心 担当 共生力育成	①道徳科・学校行事を中心としたすべての教育活動を通して、豊かな情操を養い、共感・共生する感性の育成を図る。②他者とのかかわりの中で、自分の内面と向き合い、自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図ることができる力を育てる。
体 健やかな体 担当 つながる力育成	①学習教材や学習形態の工夫などを通して、自ら課題を把握して問題解決する力の向上や互いに技能を高めあおうとする態度の育成を図る。②委員会活動を中心として取組を発信し、全校で実践することで、子どもの主体性・積極性を高めながら健康推進や体力向上を図る。
公 公共心と社会参画 担当 つながる力育成	①ペア学年を軸とした異学年交流や委員会などの児童会活動を通して、自分らしさを発揮し、他者とのふれあいを深めながら行動しようとする力を育てる。②地域の行事や取組に参加する機会を増やし、地域に主体的にかかわり、自分にできることを発揮しようとする態度の育成を図る。
開 未来を開く志 担当 学力向上	①地域との関わりを深め、葛野のまちを愛する態度を育てる。また、学習の過程や学習したことを身近な人に発信する。②他者との関わりの中で、自分の内面と向き合い、自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図ることができる力を育てる。
いじめへの対応 担当 共生力育成	①y-pを活用し、子どもたちの困り感を見取っていじめの未然防止に努める。 ②実効性のある児童アンケートを実施し、いじめの早期発見・適切な初期対応を図る。 ③学年間の情報交換を密にし、児童支援専任と協働して気になる児童へ組織的に対応する。
働き方改革 担当 主幹教諭	①各校務分掌で作成した資料が、次年度以降もスムーズに引き継げるようなデータ管理の見直しを図る。②企画会で検討する内容、打合せで提案する内容を分類し、次年度も引き継げるシステムを構築する。
人材育成・組織運営 担当 主幹教諭	①メンターの授業研究に全職員で携わりながら職員の授業力向上を目指す。②庶務事務システムを活用しながら、勤務状況や業務負担を見える化して把握する。